

わーく&らifu

令和3年度 第4号 9月24日 発行

■CONTENTS■

前期「キャリアアップ・チャレンジ5」生徒の自己評価より

前期「キャリアアップ・チャレンジ5」生徒の自己評価より

高等部一般学級では、社会人に育ちゆく生徒たちが心がけるべき行動規範（ルール）として、右のとおり「キャリアアップ・チャレンジ5」を定めて指導しています。

■「働く」ための力とチャレンジ5

人が社会のなかで「働く」ために必要な力は、右図のようなピラミッド構造をしていると言われています。

キャリアアップ・チャレンジ5はピラミッド構造の中の④と⑤に当たり、主に学校で身につけてほしい内容です。

④の「対人能力」は、他の人たちと関わりながら円滑に働くための力です。

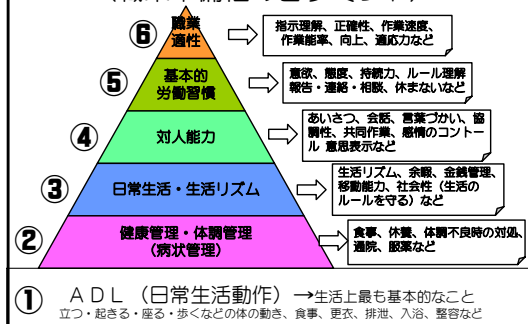
⑤の「基本的労働習慣」は、社会人として信頼されるために重要な力です。

■定期的に自己評価を実施

高等部一般学級では、「成長していく自分」「社会人になっていく自分」を意識して行動に移してほしいと考えています。そこで、定期的に生徒自身が自己評価を実施し振り返りの機会を設けています。今回はその結果をご紹介します。

- 1 気持ちいい あいさつ へんじ
- 2 きちんとした 身なり
- 3 ていねいな ことばづかい
- 4 時間・約束を まもろう
- 5 そうじ・かたづけ

「はたらく」の土台となる力
(職業準備性のピラミッド)



自己評価結果①「キャリアアップ・チャレンジ5を覚えている生徒」

「言える」「すらすら言える」を合わせて66.7%でした。

昨年度の前期評価と比べて12.9ポイントも上昇しており、キャリアアップチャレンジ5が生徒の意識に、徐々に浸透してきていると考えられます。

自己評価結果②「生徒自身の評価が高いのは」

自己評価が高い順に以下のとおりでした。

- 1 きちんとしたみなり（85.7%の生徒がプラス評価）
- 2 そうじ・かたづけ（84.3%の生徒がプラス評価）
- 3 気持ちいいあいさつへんじ（77.1%の生徒がプラス評価）
- 4 ていねいなことばづかい（74.3%の生徒がプラス評価）
- 5 時間・約束をまもろう（70.0%の生徒がプラス評価）

みなり（身だしなみ）はご家庭でのご指導の賜と考えられます。ご協力ありがとうございました。一方、「ことばづかい」や「約束を守る」ことなどの自己評価が低いです。引き続き学校・ご家庭双方で意識して取り組みたいものです。

自己評価結果③「学年間・年度間の変化」

右の表は、各学年毎に自己評価がプラスだった割合を示したものです。

本年度の生徒評価を学年間で比べると、1年生から3年生まで確実にプラス評価が増えているのがわかります。

また令和2年度の前期評価と比べても、プラス評価が増えているのがわかります。入学時点で

は自己肯定感が低めの生徒たちが、本校での学びを通して成功体験を経験し、自己肯定感を徐々に高めていっているものと考えられ、本校教育の成果のひとつだと考えられます。

なかでも、3年生の自己評価が1年間で9.6%もアップしています。最上級生として、また、進路選択の節目の学年としての一人一人の自覚が伺えてとても嬉しく思います。

編集後記

高校生たちの自己評価は、私たち大人にも必要ことを教えてくれます。「将来必要になることは、今から必要なこと。」の考え方に立つと、高校生たちに「苦手」意識が高い内容は特に、お子様が小さいうちから取り組んでおくべきことだと言えます。

毎日の生活の中で「ことばづかい」や「時間・約束を守ること」を家族で意識してみることをおすすめします。



文責：谷口